

環境マネジメントシステム導入報告書

|                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| (宛先) 京都府知事             | 2025年7月31日           |
| 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） | 氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） |
| 京都府宇治市槇島町十一の161        | 代表取締役社長 中嶋國雄         |
|                        | 電話番号：0774-23-7111    |

|  |  |
|--|--|
| 環境マネジメントシステムの名称                        | ISO14001   |
| 適用範囲                                   | 本社・デバイステクノセンター・物流棟   |
| 導入年月日                                  | 2002年9月25日   |
| 認証番号                                   | 07921-B  |
| 基本方針                                   | 1. 国際標準であるISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、汚染の予防と継続的改善に努める。<br>2. 環境に関する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。<br>3. 教育訓練により全従業員の環境管理意識と技術を向上させる。<br>4. 社内、社外問わず、環境に関する情報交換を積極的に推進する。                    |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 1. 電気、燃料等エネルギー使用量低減。<br>2. 廃棄物の排出抑制および、リサイクル化の推進。<br>3. 化学物質等の管理を徹底し大気・河川への排出および流出の予防。   |
| 目標を達成するための取組の内容                        | 京都地区温室効果ガスCO2換算排出量<br>・ウエハロス率低減<br>・生産閑散期での余剰設備立ち下げ<br>・室外機遮光カーテン・スプリンクラー設置<br>・クールビズ実施による空調使用抑制<br>・デマンドシステムの活用<br>・再生可能エネルギーの採用<br>・電気自動車導入検討<br>・太陽光パネル設置検討<br>・水素発生装置の稼働停止（トレーラー供給方式へ変更） |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                      | 京都地区温室効果ガスCO2換算排出量<br>・・・ウエハロス率低減活動実施<br>特別管理産業廃棄物<br>・・・歩留まり改善活動実施中<br>全社電力使用量<br>・・・節電及びエネルギー効率的活用実施中。<br>再生可能エネルギーの順次導入<br>・・・一部事業所に導入済み。<br>水素発生装置の稼働停止（トレーラー供給方式へ変更）<br>・・・移行完了。        |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価            | 電力使用量については、前年度より減少となりましたが生産減により原単位では増加となりました。また、その他エネルギー使用の削減のための取り組みの結果、特別管理産業廃棄物排出量を削減しました。省資源寄与製品開発については目標に対して未達成です。また、一部事業所については再生可能エネルギーを導入し、徐々に導入割合を増やしていく計画です。                        |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                        | 京都府庁への関連法規（水質汚濁防止法、大気汚染防止法）に関わる測定結果の定期報告を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。   |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                | 評価、見直しの必要性については、1年に1回行っている。2024年度も同一のシステムで運用されるが、目標達成のため下記のように取組事項を実施。<br>1. 節電及びエネルギー効率的活用<br>2. 歩留まり改善<br>3. 省資源寄与製品の開発<br>4. リサイクルの推進   |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。